

朝の打ち合わせ（2月4日（金）） 校長より

<リスクマネジメント>

- 1月26日付け保護者宛て文書で示した本校における感染症対策を徹底し、感染症対策と教育活動の両立という、前例のないリスクマネジメントにしっかり取り組んでいきましょう。
- さまざまなケースを想定しながら、前もっていろいろと検討・準備しておきましょう。悲観的に準備し、楽観的に実行することがリスクマネジメントの基本です。
- 感染リスクを低減しながら生徒の学びを保障していくに当たって、生徒も先生もいろいろと気を遣います。生徒はもちろん、先生からのSOSも見逃さないようにしましょう。メンタルヘルスマネジメントも重要です。

朝の打ち合わせ（2月2日（水）） 校長より

<県立高校入試前期選抜の出願受け付け>

- 今春の県立高校入試で、特色選抜と一般選抜を行う前期選抜の出願受け付けは、明日2日3日（木）から始まる。締め切りは2月8日（火）正午。
- いわき湯本高校については、事務取扱校の湯本高校で対応する。

朝の打ち合わせ（2月1日（火）） 校長より

<感染対策の強化等>

- まん延防止等重点措置の県全域拡大を受け、県教委は1月28日（金）、県内全域の県立学校において「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準における対応をレベル3の対応とし、感染対策を一層徹底することとした。
- また、県が感染者急増を受け、感染者の濃厚接触者の取扱いを変更したことに伴い、県教委は当面の間、濃厚接触者の対応を変更した。
- 以上をまとめた保護者宛て文書を、生徒を通して各家庭に配付する。

朝の打ち合わせ（1月27日（木））校長より

<コロナ禍が私たちに問いかけること>

- 生きる上で身体と他者ほど面倒くさいものはない。しかし、私たちは生きる限り、この二つから逃れることはできない。
- 他者と身体は生きることの味わいをもたらしもするが、同時にそれらは疲労の源泉でもある。だから、体を整え、動かすことや、他者との関わりが減ることは、楽と通ずるのである。
- コロナ禍は、「楽をしたい」という本音を「感染予防」の大義名分で覆い隠すことに成功したのではないか。
- 以上を踏まえると、学校において日々取り組んでいる、感染予防と教育活動の保障を両立させることは、私たちが生きる上でも重要な意味を持っているのではないか。

朝の打ち合わせ（1月26日（水））校長より

<感染対策の強化>

- 福島、会津若松、郡山、いわき、南相馬の5市に対するまん延防止等重点措置の適用を受け、県教委は「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準における対応を、県北地区、県南地区（郡山市、須賀川市、鏡石町及び三春町のみ）、会津地区（南会津地区を除く）、いわき地区及び相双地区の県立学校においてレベル3に引き上げ、それ以外の県立学校においてはレベル2の対応とし、感染対策を一層徹底することとした。
- このことを踏まえ、1月14日付け保護者宛て文書で示した本校の感染対策を一層強化することとし、本日、保護者宛て文書にまとめ、生徒を通して各家庭に配付する。併せて、一斉メールで連絡するとともに、学校ホームページに掲載する。

<オンラインによる学習支援>

- 感染症対策と学びの保障を両立させるために、オンラインによる学習支援は重要な手立ての一つ。
- 本日放課後、ICT支援員によるGoogle講習会を実施する。前回12月のTeams講習会も好評だった。ぜひ活用して欲しい。

朝の打ち合わせ（1月25日（火））

<震災学習>

- 「3. 11」「4. 11」について、1年生がわが町新聞にまとめている。震災を風化させないこと、震災の教訓などを自分の言葉で語り継いでいくことは本県の高校生にとって重要なテーマ。

<改革後期計画>

- 県教委は24日、県立高校改革の後期実施計画（2024～28年度）を発表した。
- 高校の魅力化・特色化という観点から、いわき湯本高校の開校準備を着実に進めたい。

<不祥事根絶>

- 飲酒運転、わいせつ、個人情報紛失など、不祥事を他人事ではなく自分事としてとらえことが大事。